



令和6年度
佐賀県立佐賀城本丸歴史館
協議会



1 令和6年度の事業実施状況



令和6年度の佐賀城本丸歴史館の主な事業

- 特別展「没後150年特別展 江藤新平 ―日本の礎を築いた若き稀才の真に迫る―」
令和6年3月15日(金)～5月12日(日)
- テーマ展「鍋島武芸帖」
令和6年7月19日(金)～9月16日(月・祝)
- テーマ展「佐賀城本丸歴史館開館20周年記念 佐賀藩の四季」
令和6年11月15日(金)～令和7年1月13日(月・祝)
- テーマ展「鍋島直大と百武兼行 ふたりが見た明治」
令和7年3月14日(金)～5月11日(日)
- 佐賀城本丸御殿に関する調査研究事業
- 佐賀の歴史文化に関する研究会 (→佐賀復権推進チームへ)
- 江藤新平復権事業 (→佐賀復権推進チームへ)
- 季節ごとのイベント (GW・夏休み・お正月・ひなまつり)
- 定期イベント (子ども着付体験・歴史館ゼミナール)
- 佐賀城本丸歴史館開館20周年記念イベント

【3頁】

展覧会(令和6年度)

No	会期	会場	展覧会名	内容	観覧者数 (入館者数)
(1)	令和6年 3月 15日～5月12日 【59日間】	御小書院 (特別展示 室) ・外御書院	没後150年特別展 「江藤新平―日本の礎を 築いた若き稀才の真に 迫る―」	令和6年(2024年)に江藤新平の没後150年を迎えるにあたり、「人民のために」という信念を貫いて明治日本の新たな国家づくりに尽力した江藤の功績や人となりを紐解いた。	20,305人 (39,438人)
(2)	令和6年 7月19日～9月 16日 【60日間】	御小書院 (特別展示 室)	テーマ展「鍋島武芸帖」	江戸時代、勉学とともに武家が身に付けておくべき素養であった武芸について、佐賀藩に関する武具や武術書を紹介した。	15,418人 (33,987人)
(3)	令和6年 11月15日 ～令和7年1月 13日 【60日間】	御小書院 (特別展示 室)	佐賀城本丸歴史館 開館20周年記念 「佐賀藩の四季―祭祀・ 慣習・年中行事―」	開館20周年を記念し、佐賀藩の式典・祭祀・年中行事にまつわる資料を「繋がり」をテーマに展示した。会期中には20周年記念イベントを開催した。	16,148人 (36,727人)
(4)	令和7年 3月14日 ～5月11日 【59日間】	御小書院 (特別展示 室)	テーマ展 「鍋島直大と百武兼行 ふたりが見た明治」	「最後の佐賀藩主」であり、明治政府では要職で活躍した鍋島直大と彼の側近を務め、日本近代洋画の先駆者でもある百武兼行が、明治という新たな時代に見出し、どのような未来を切り拓こうとしたのか資料や作品を通じて探る。	—

【4頁】

没後150年特別展 江藤新平－日本の礎を築いた若き稀才の真に迫る－

2024 3.15 FRI ▶ 5.12 SUN 佐賀県立佐賀城本丸歴史館
開館 9時30分～18時 〒840-0041 佐賀市城内2丁目18-1

観覧無料

日本の礎を築いた
若き稀才の真に迫る

没後150年特別展

江藤新平

江藤新平からの挑戦状! 謎解き宝探し

意外な一面発掘! 「江藤新平って、実は…」 投稿キャンペーン

映像展示や歴史資料から稀才・江藤新平の
功績を実感する特別展

「江藤新平は、明治維新の激動の中で、日本の礎を築いた若き稀才の一人である。その功績は、現代まで語り継がれている。本展では、映像展示や歴史資料を通じて、江藤新平の功績を実感し、その偉業を学ぶ機会を提供する。特別展として、江藤新平の功績を再評価し、その偉業を現代に伝える。江藤新平の功績は、日本の礎を築いた若き稀才の一人である。その功績は、現代まで語り継がれている。本展では、映像展示や歴史資料を通じて、江藤新平の功績を実感し、その偉業を学ぶ機会を提供する。特別展として、江藤新平の功績を再評価し、その偉業を現代に伝える。」

江藤新平が着用していた黒い羽織袴

江藤新平に就任を命じられた佐賀藩の藩札

江藤新平の功績を再評価し、その偉業を現代に伝える。

江藤新平からの挑戦状! 謎解き宝探し

意外な一面発掘! 「江藤新平って、実は…」 投稿キャンペーン

優秀作品のほか、抽選でプレゼントが当たる!

参加無料

イベント

2024年 4/29(再-祝) 大園隆二郎氏(講師:史学作家)

13:30-15:00 川園義敬氏(江藤新平研究会アドバイザー)

星原大輔氏(大倉庫文化研究所研究員)

藤井祐介(作家)

2024年 3/16(土)-17(日)、4/27(土)-28(日)、5/11(土)-12(日)
10時-14:00 佐賀城本丸歴史館 2階小ホール(特別展会場)

佐賀県立佐賀城本丸歴史館 SAGA CASTLE HISTORY MUSEUM

TEL:0952-41-2500 佐賀市城内2-18-1
開館 9:30-18:00 (最終入館 17:30)

佐賀城本丸歴史館 2階小ホール(特別展会場)

【5頁】

没後150年特別展 江藤新平－日本の礎を築いた若き稀才の真に迫る－

◆江藤新平の生涯や功績を、グラフィック展示や映像等を通じて4つの視点から紹介



没後150年特別展 江藤新平—日本の礎を築いた若き稀才の真に迫る—

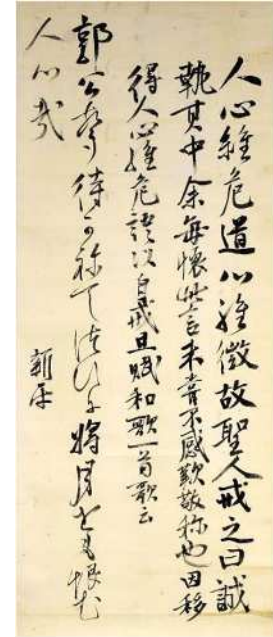
◆重要文化財を含む貴重な資料約60点を展示(前・後期合わせて)



御小書院の展示風景



【重要文化財】大久保利通宛三条実美書簡
(国立歴史民俗博物館蔵)



江藤新平書「郭公声待かねて」(江藤新平絶筆)
(高知県立歴史民俗資料館蔵)

【7頁】

没後150年特別展 江藤新平—日本の礎を築いた若き稀才の真に迫る— 関連イベント

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	3月15日(金)	開会式	外御書院	57人
2	3月30日(土)	第230回歴史館セミナー 「江藤新平、日本の礎を築く」 藤井祐介(本館学芸員)	美術館ホール	296人
3	4月29日(日)	記念シンポジウム 「稀才・江藤新平の真に迫る」 大園隆二郎氏(藩政史研究家) 川副義敦氏(武雄市歴史資料館アドバイザー) 星原大輔氏(大倉精神文化研究所研究部長) 藤井祐介(本館学芸員)	美術館ホール	480人
4	3月16日(土)・3月17日(日) 4月27日(土)・4月28日(日) 5月11日(土)・5月12日(日)	ギャラリートーク	御小書院	87人
5	会期中の土・日・祝(22日間)	江藤新平からの挑戦状 謎解き宝探し	館内	994名
6	会期中	意外な一面発掘！江藤新平って、実は・・・ 投稿 キャンペーン	御玄関周辺	約900人

【8頁】

没後150年特別展 江藤新平—日本の礎を築いた若き稀才の真に迫る— 関連イベント



開会式



歴史館ゼミナール



記念シンポジウム



謎解き宝探し・投稿キャンペーン

【9頁】

テーマ展 鍋島武芸帖

テーマ展「鍋島武芸帖」展示資料一覧

会期: 令和6年(2024)7月19日(金)~9月16日(月・祝) / 会場: 佐賀県立佐賀城本丸歴史館御小書院(特別展示室)



No.	資料名	時代	形態等	数量	所蔵者等(敬称略)	備考
(1) 佐賀藩の武術—武芸をおさめる—						
1	鍋島直茂面像(複製)	【原本】貞享2年(1685)	掛幅装	1幅	佐賀県立博物館 (美伝寺所蔵)	
2	業隠(小山本)	江戸時代中期	壺帳	6冊	佐賀県立図書館	
3	雪中之雄	文政8年(1825)	壺帳	1冊	公益財団法人 鍋島製紙会 (佐賀県立図書館寄託)	
4	タイ捨流解紐	宝永7年(1710)3月	壺帳	1冊	公益財団法人 鍋島製紙会 (佐賀県立図書館寄託)	
5	新編流兵法之書	文化9年(1812)11月	巻子装	1巻	佐賀県立図書館	
6	門口流柔術御伝覚書	江戸時代後期	巻子装	1巻	佐賀県立図書館	
7	鎌倉御家系図	安政6年(1860)以降	壺帳	2冊	公益財団法人 鍋島製紙会 (佐賀県立図書館寄託)	
8	履歴書	明治25年(1892)5月	壺帳	1冊	個人蔵 (佐賀城本丸歴史館寄託)	
9	鍋川流槍術初目錄	万延元年(1860)12月	折紙	1通	個人蔵 (佐賀城本丸歴史館寄託)	
(2) 武具の種類—武芸をかたどる—						
10	弓	江戸時代	弓	1本	佐賀県立博物館	
11	矢	江戸時代	矢	18本	公益財団法人 鍋島製紙会	
12	槍 銘「肥州神崎住小河兵部丞源蔵吉」	室町時代	鉄造	1口	個人蔵 (佐賀県立博物館寄託)	
13	薙刀 銘「肥前国住源家次」	室町時代	鉄造	1口	佐賀県立博物館	
14	薙刀 銘「肥前住藤原兼若」	江戸時代中期	鉄造	1口	公益財団法人 鍋島製紙会 (佐賀県立博物館寄託)	
15	黒漆塗染改直草薙給薙刀拵 (刀「藤原兼若」拵)	江戸時代後期	拵	1口	公益財団法人 鍋島製紙会 (佐賀県立博物館寄託)	
(3) 伝授の方法—武芸を伝える—						
16	神文	宝暦5年(1755)6月	綴紙	1通	佐賀城本丸歴史館	
17	兵衛免許書伝書	江戸時代後期	巻子装	20巻	名護屋城博物館	うち展示4巻 パネル展示4巻
(コラム) 佐賀の偉人と武芸—偉人たちの武芸帖—						
18	再拜々々敬白天朝起議文前書	文久3年(1863)8月	綴紙	1通	佐賀県立図書館	
19	南都宝蔵院流十文字翻 秘傳目録	文化元年(1804)4月	巻子装	1巻	佐賀城本丸歴史館	

【10頁】

テーマ展 鍋島武芸帖

◆近代以前に佐賀で行われていた「武芸」の姿を、当時の武具や武術書等から紹介。
また関連イベントとして、8月1日（開館記念日）にギャラリートークと「兵法タイ捨流」の演舞を実施。



【11頁】

佐賀城本丸歴史館開館20周年記念展 佐賀藩の四季—式典・祭祀・年中行事—



佐賀城本丸歴史館開館20周年記念展「佐賀藩の四季—式典・祭祀・年中行事—」展示資料一覧

No.	資料名	時代	形態等	数量	所蔵者等（敬称略）	備考
はじめに						
1	紅輪子地花車模様打掛	江戸時代後期	着物	1着	公益財団法人鍋島製鉄会	
(1) 佐賀の祝い						
2	正月元旦舞家中御礼書上紙	万延2年（1861）	巻紙	1冊	佐賀県立佐賀城本丸歴史館	
3	字控（鍋島重富日記）	安政元年（1854）	小帳簿	1冊	公益財団法人鍋島製鉄会（佐賀県立図書館寄託）	
4	十方南蓮菜園	江戸時代後期	掛軸絵	1幅	佐賀県立博物館	
5	銀製菱紋入加筋子・長柄鍔子	江戸時代後期	磁器	2点	公益財団法人鍋島製鉄会	
6	色絵基盤菓子置物	1670～80年代	磁器	1点	佐賀県立九州陶磁文化館	
7	色絵成慶弓模斗文皿	1690～1730年代	磁器	1点	佐賀県立九州陶磁文化館	
8	銅製園坐寶	江戸時代前期	掛軸絵	1幅	佐賀県立博物館	
(2) 佐賀の祭り						
9	興賢神社縁起図（佐賀市重要文化財）	延宝6年（1678）	掛軸絵	1幅	興賢神社	複製展示
10	蒸奈図	江戸時代前期	掛軸絵	1幅	興賢神社	複製展示
11	民俗芸術衣裳（上・中）	昭和初期	着物	1着	佐賀県立博物館	
12	浮立屏	制作年不詳	屏	1口	佐賀県立博物館	
13	武蔵浮立絵巻	江戸時代後期	巻子装	1巻	佐賀県立博物館	
(3) 佐賀の献上						
14	絵付白樺文大皿	1790～1840年代	磁器	1点	佐賀県立九州陶磁文化館	
15	絵付遊山藁文長皿	19世紀前半	磁器	4点	佐賀県立九州陶磁文化館	
16	絵付秋文皿	1790～1820年代	磁器	2点	佐賀県立九州陶磁文化館	
17	絵付菊文角小皿	19世紀前半	磁器	4点	佐賀県立九州陶磁文化館	
(4) 佐賀の吉例						
18	鍋島勝茂公諱考書 第九巻	天保16年（1845）	巻紙	1冊	公益財団法人鍋島製鉄会（佐賀県立図書館寄託）	
19	藩祖直茂公二百五十年祭礼之詞	慶応3年（1867）	巻子装	1巻	佐賀県立図書館	
20	翁・掛曳きの松図	江戸時代後期	掛軸絵	3幅	佐賀県立佐賀城本丸歴史館	
21	池邊寺鍋島旧御間書	江戸時代	巻紙	1冊	公益財団法人鍋島製鉄会（佐賀県立図書館寄託）	
(コラム) 佐賀の慣習 鍋島鍋強動を例に						
22	肥州奇標旗巻物譜	弘化3年（1846）	巻紙	1冊	佐賀県立図書館	
23	楽蔵文庫佐賀陣備奇談	明治16年（1883）	巻紙	1冊	佐賀県立図書館	

直前：令和6年11月15日（金）～令和6年12月12日（木）／後前：令和6年12月13日（金）～令和7年1月13日（月・祝）

【12頁】

佐賀城本丸歴史館開館20周年記念展 佐賀藩の四季—式典・祭祀・年中行事—

◆佐賀藩の四季を彩った式典、祭祀、年中行事などの文化的営みを、当時の資料を通じて紹介。また関連イベントとして、ギャラリートーク(計4回)、歴史館ゼミナールなどを実施。



【13頁】

テーマ展 鍋島直大と百武兼行 ふたりが見た明治

佐賀県立佐賀城本丸歴史館テーマ展
鍋島直大と百武兼行
 ふたりが見た明治
 令和7年(2025) 3月14日(金)～5月11日(日) 観覧無料
 会場 | 佐賀県立佐賀城本丸歴史館 御小書院(特別展示室)
 主催 | 佐賀県立佐賀城本丸歴史館 TEL: 0952-41-7550

「最後の佐賀藩主」であり、明治政府では要職に就き活躍した鍋島直大(1846-1921)と、彼の側近を務め、日本近代洋画の先駆者でもある百武兼行(1842-1884)。明治という新たな時代に二人が何を見出し、どのような未来を切り拓こうとしたのかを資料や作品を通して探ります。

I 江戸から明治へ～直大と百武の出会い～						
1	鍋島直大肖像(万延元年撮影)	万延元年(1860)年	写真	1点	公益財団法人鍋島研究協議会	
2	墓名簿	江戸時代後編	墓地帳	1冊	佐賀県立美術館	
3	人物帳	江戸後編～明治初期	古用帳簿	1冊	本館蔵(本町支店コレクション)	
4	鍋島直大洋行帳	明治3年(1870)	算帳式大帳	1点	公益財団法人鍋島研究協議会	
5	茶書簡姿	明治時代	紙本墨画	1点	佐賀県立図書館	
II 西欧との邂逅～ロンドン、そしてパリへ～						
6	北斐洋画洋装組	1870年代後半	絹巻帽子	1点	公益財団法人鍋島研究協議会	
7	洋装	明治11年(1876)頃	百武兼行	1点	佐賀県立美術館	
8	ガードマン下絵	明治11年(1876)頃	百武兼行	1点	佐賀県立美術館	
9	品定め花巻茶紋様刺繍袴の紋様・付子	江戸時代後編	木製、漆	1点	公益財団法人鍋島研究協議会	
10	鍋島直大写真(9才撮影)	明治11年(1876)頃	写真	1点	佐賀県立美術館	
11	自画像	明治11年(1876)頃	百武兼行	1点	佐賀県立美術館	
12	マンダリンを持つ少女	明治12年(1879)	百武兼行	1点	公益財団法人鍋島研究協議会	佐賀県立美術館
13	少女習字	明治12年(1879)頃	百武兼行	1点	佐賀県立美術館	
14	バグパイプを吹く男	明治12年(1879)頃	百武兼行	1点	個人蔵(佐賀県立美術館寄託)	
III ローマでの活躍～日本公使として～						
15	特命全權イタリヤ公使鍋島直大肖像	明治14年(1881)	写真、銅	1点	本館蔵	
16	鍋島直大像	明治16年(1882)	百武兼行	1点	公益財団法人鍋島研究協議会	佐賀県立美術館
17	鍋島直大所用 上毛(上衣・羽織袴)	明治16年(1882)頃	袴	1点	公益財団法人鍋島研究協議会	
18	ピエトロ・ミッガ同席書	明治14年(1881)頃	百武兼行	1点	佐賀県立美術館	
19	ピエトロ・ミッガ同席書	明治15年(1882)	百武兼行	1点	佐賀県立美術館	
20	書信	明治時代	墨紙	1冊	公益財団法人鍋島研究協議会(佐賀県立図書館寄託)	
21	外(館務)・外交(館務)書	明治時代	絹巻式大帳	1冊	本館蔵(本町支店コレクション)	
22	百武兼行勲章(イタリア共和国)	1882年(5月12日)	銀、ペン	2点	佐賀県立美術館	
IV ふたりが見た明治						
23	鍋島直大日記	明治17年(1882)7月	紙本墨書	1点	公益財団法人鍋島研究協議会	
24	廿五年新編の御筆之図	明治25年(1892)頃	紙「小帳」	1点	本館蔵	
25	日本銀行の爲に御筆の金札	明治時代中期	絹巻式大帳	1冊	本館蔵(本町支店コレクション)	
26	鍋島直大書「特選福引」	明治中期	絹巻式大帳	1冊	本館蔵(本町支店コレクション)	
27	撰書本(鍋島直大書)	明治時代前期	絹巻式大帳	1冊	公益財団法人鍋島研究協議会(佐賀県立図書館寄託)	

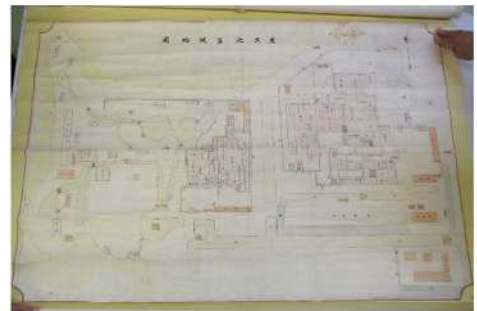
【14頁】

資料収集(令和6年度)

<p>寄贈</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 鍋島直正書状(松平飛騨守宛) 1点 鍋島直正が幕府御側衆の松平忠徳に「土器(かわらけ)」を進呈する旨の書状。鍋島家は冬季に土器を幕府、大名等に進呈しており、その一端を示す。 ➢ 旧蓮池藩城略図 1点 蓮池藩の陣屋(蓮池陣屋・明治6年焼失)、庭園(天賜園・弘化2年造営)等を描いた絵図。蓮池公民館伝来。 <p style="text-align: right;">合計 2件 2点</p>
<p>寄託</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 佐賀城御座間等ガラス乾板 1件10点 赤松小学校で保管されていたガラス乾板。御座間、庭園、鯨の門、御玄関等 ➢ ほか1件1点 <p style="text-align: right;">合計 2件 11点</p>



鍋島直正書状(松平飛騨守宛)






旧蓮池藩城略図

【15頁】

調査研究(令和6年度)

佐賀城本丸御殿に関する調査研究事業

<p>概要</p>	<p>御座間・堪忍所と棟続きの御小座や御寝所・泉水(庭園)など、藩主の日常生活や執政空間に関する調査を行った。</p>	
<p>調査方法</p>	<p>長崎総合科学大学の山田由香里教授(工学部建築学コース)への委託により、御小座(二階部分)、御寝所、御風呂屋などの類例建物について調査・実測を行った。</p>	
<p>調査場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 仙巖園島津別邸(鹿児島県鹿児島市) ➢ 飢肥城松尾の丸(宮崎県日南市) ➢ 二条城本丸御殿(京都府京都市) ➢ 日光田母沢御用邸(栃木県日光市) ➢ 高知城本丸御殿(高知県高知市) ➢ 福山城本丸御湯殿(広島県福山市) ➢ 名古屋城本丸御殿(愛知県名古屋市) ➢ 掛川城二の丸御殿(静岡県掛川市) 	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>御二階の類例調査 (日光田母沢御用邸)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>御寝所の類例調査 (掛川城二の丸御殿)</p> </div> <div style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>御風呂屋の類例調査(左:名古屋城・右:二条城)</p> </div> </div>

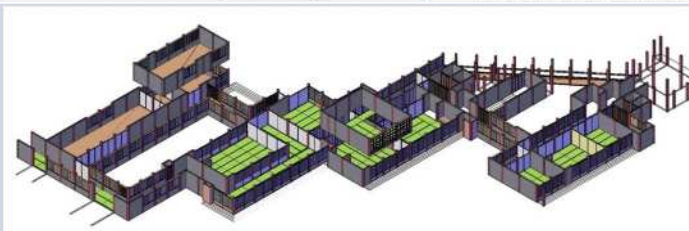
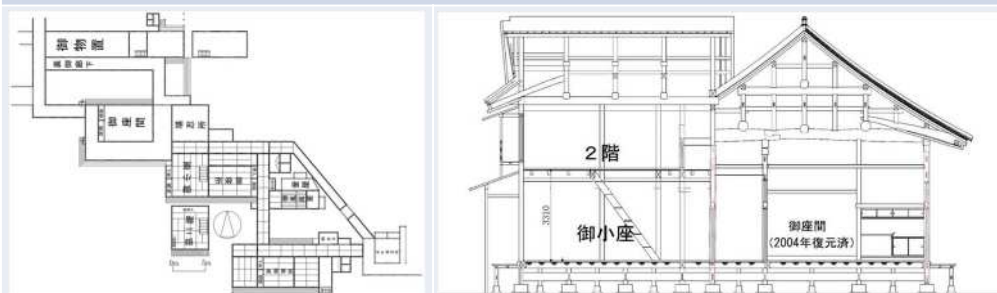
【16頁】

調査研究(令和6年度)

佐賀城本丸御殿に関する調査研究事業

文献・絵図等の歴史資料及び関連建築等の調査研究による復元図の作成

調査成果
(令和5年度)



左:「中奥」(御物置～奥御寝所)部分の復元平面図

右:御小座・御二階部分の復元断面図

下:「中奥」(御物置～奥御寝所)部分のアイソメ図(等角投影図)

調査成果
(令和6年度)

類例建物の調査によって検討の進んだ箇所(一例)

- 御小座二階部分の構造…床の間、縁側の構造(天井、建具、手摺りの高さなど)
- 御風呂屋等の内部構造…床板、排水溝、脱衣所、お湯の運び口など
- 御寝所の構造…書院造・防音ほかを考慮した二重床、二重天井、床下格子など

→3月19日(水)、調査成果の報告会を実施予定

【17頁】

調査研究(令和6年度)

研究紀要刊行

佐賀県立佐賀城本丸歴史館 研究紀要 第20号
令和7年3月刊行予定

- 野下俊樹「龍造寺隆信没後の龍造寺氏
一天正十二年十一月十六日付龍造寺政家判物の紹介を兼ねて」
- 武谷和彦「^{こうじろ}神代城(鶴亀城)概論—肥前国高来郡所在城郭の一例—」
- 谷頭舞姫「【報告】佐賀城本丸歴史館開館20周年記念イベントの実施報告と過去の実施イベントについて」

【18頁】

調査研究(令和6年度)

その他の研究活動、委員派遣、支援・協力等

七田忠昭

専門分野 考古学

- ゆめさが大学(佐賀校・唐津校・鹿島校・鳥栖校)講師
- 吉野ヶ里遺跡弥生時代・古代調査指導委員会委員長【佐賀県】
- 神崎市 歴史まちづくり遺産審議委員会 委員長【神崎市】
- 神崎市文化財保護審議会副会長【神崎市教育委員会】
- 唐津市文化財保護審議会委員【唐津市教育委員会】
- 唐津市末盧国遺跡群調査指導委員会委員【唐津市教育委員会】
- 小城市土生遺跡調査委員会委員長【小城市教育委員会】
- 佐賀市文化振興基本計画推進懇話会及び佐賀市文化振興基本計画策定委員会委員【佐賀市】
- 吉野ヶ里学研究会 シンポジウム「弥生後期の集落と墓制」発表
- 吉野ヶ里遺跡シンポジウム「石棺墓のナゾにせまる」討論

古川英文

- 相良知安文書会読会への参画
- 上峰町ふれ愛・粋いきセミナー&女性セミナー「佐賀の偉人伝」講演
- 楠公祭「佐賀城本丸クラシックスについて」講演
- 佐賀新聞社ランチ佐賀「地方の出版とグローバリズム」講演

武谷和彦

専門分野 考古学・中近世城郭・肥前名護屋城と諸大名陣屋の調査研究

- 三重津海軍所跡保存整備指導委員会オブザーバー【佐賀市(歴史・文化課)】

【19頁】

調査研究(令和6年度)

その他の研究活動、委員派遣、支援・協力等

藤井祐介

専門分野 日本近世史

- (兼務:佐賀復権推進チーム)江藤新平復権事業課題研究
- 【講演】「島義勇が見た蝦夷地、そして日本」、島義勇没後150年顕彰祭、札幌グランドホテル、2024年4月13日
- 【歴史考証支援】SAGAハイスクール DI 人材育成事業「SEIRENKATA_2nd」(佐賀県教育委員会)
- 科研費「幕末維新时期佐賀藩における海外渡航者の総合的研究」(研究代表者:佐賀大学地域学歴史文化研究センター伊藤昭弘教授)共同研究者
- 放送大学非常勤講師(面接授業「佐賀から見直す幕末維新」)

秋山沙也子

専門分野 近現代美術

- 【研究助成】公益財団法人鹿島美術財団「2024年度 美術に関する調査研究助成」
研究課題:「岡田三郎助と台湾人洋画家の交流および影響関係について」(~2025年5月)
- 第74回佐賀県美術展覧会 ポスター審査委員(2024年7月9日)

都留慎司

専門分野 日本近代史

- 【寄稿】「手紙が語る歴史秘話 Vol.84 大久保利通から伊藤博文へ内務卿の苦悩がにじむ手紙」、『江戸楽』184号(エー・アール・ティ、2024年8月)
- 【歴史考証支援】SAGAハイスクール DI 人材育成事業「SEIRENKATA_2nd」(佐賀県教育委員会)

谷頭舞姫

専門分野 美術工芸

【20頁】

ゴールデンウィークイベント(令和6年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	4月28日(日)	昔風写真撮影体験	一之間	85組
2	5月3日(金・祝)	甲冑体験	御座間・堪忍所	20人
3	5月4日(土・祝)	子ども着付体験	御座間・堪忍所	47人
4	5月5日(日・祝)、 5月6日(月・振)	ワークショップ「スタンドグラス風！ 透けるこいのぼりガーラント作り」	御座間・堪忍所	267人



昔風写真撮影体験



甲冑体験



スタンドグラス風！透ける
こいのぼりガーラント作り



子ども着付体験

【21頁】

夏休みイベント(令和6年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	7月20日(土) 7月24日(水)	夜の本丸探検隊	館内	189人
2	8月10日(土) 8月11日(日)	ワークショップ ころころかぶと人形づくり	二之間・三之間	209人
3	8月1日(日)	開館記念カノン砲祝砲イベント	館外	—
4	8月1日(日)	「兵法タイ捨流」演武	二之間・三之間	—
5	8月1日(日)	学芸員によるテーマ展解説	御小書院	—
6	7月20日(土)～8月12日(月・祝)	昔遊びコーナー	四之間	—
7	7月20日(土)～8月31日(土)	風鈴飾り	御玄関	—
8	7月20日(土)～8月31日(土)	うちわ絵展示	北廊下	—
9	7月20日(土)～9月16日(月・祝)	夏限定クイズラリー	館内	—

夜の本丸探検隊

ころころかぶと人形づくり

カノン砲祝砲

「兵法タイ捨流」演武



【22頁】

開館20周年記念イベント(令和6年度)

月日	イベント名	会場	参加人数
11月23日 (土・祝)	【昼の部】 ○オープニングセレモニー ・和太鼓演奏 ・知事メッセージ ・歴史講話 ○「千」に挑む！ ○時を超えてツナグタイムカプセルプロジェクト ○和装記念撮影	外御書院・北廊下	約250人
	【夜の部】 ○オープニングセレモニー ○堪能！佐賀の味 ○スイーツプレゼント ○HONMARU JAZZ一期一会 ○館内ライトアップガイドツアー	屋外(御玄関前)、 館内(北廊下、外御書院、屯之間、御座間、堪能所、御小書院)	約400人

「千」に挑む！



堪能！佐賀の味/HONMARU JAZZ一期一会



ライトアップガイドツアー



【23頁】

お正月イベント(令和6年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	1月2日(木)	凧づくり体験	館外	191人
2	1月2日(木)	書初め体験	館外	206人
3	1月2日(木)	大筆書き	館外	—
4	1月2日(木)	ワークショップ オリジナル羽子板をつくろう	二之間・三之間	178人
5	1月3日(金)	本丸ハイハイレース	外御書院	100人
6	1月3日(金)	琴路神社奉納獅子舞	館外	150人
7	1月2日(木)・3日(金)	昔遊びコーナー	四之間	—
8	12月16日～1月14日	鼓の胴の松飾り	御玄関	—

凧づくり体験



大筆書き



本丸ハイハイレース



琴路神社奉納獅子舞



【24頁】

ひなまつりイベント(令和6年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	2月8日(土)~3月9日(日)	おひなさまフォトスポット	二之間	※1※2を参照
2	2月8日(土)~3月9日(日)	第11回 子どもびなの宴 ※主催:佐賀城下ひなまつり実行委員会	外御書院	※1※2を参照
3	2月8日(土)~3月9日(日)	ワークショップ「夢と希望の樹」 ※主催:佐賀城下ひなまつり実行委員会主催	外御書院	※1※2を参照
4	2月22日(土)、2月24日(月・祝)	ワークショップ「お花のようなおひなさまづくりワークショップ」	御座間・堪忍所	22日92人 24日133人
5	3月1日(土)	子ども着付体験	御座間・堪忍所	41人
6	3月1日(土)	和装でおもてなし	御式台付近	—
7	3月1日(土)	ひなまつりプレゼント	御玄関	先着100名
8	3月8日(土)	なぞときゲーム「本丸からの挑戦状」	館内・外	15組・28名

※1 期間中(2/8~3/9)の来館者数:27,713人(1日平均924人)

※2 期間中(2/8~3/9)土日祝のみの来館者数:15,223人(1日平均1,269人) (期間前の平均入館者数:673人)



【25頁】

歴史館ゼミナール(令和6年度)

No	月日	講師(敬称略)及び演題	聴講者数
231	4月29日(土)	大園隆二郎(藩政史研究家) 川副義敦(武雄市歴史資料館アドバイザー) 星原大輔(公益財団法人大倉精神文化研究所研究部長) 藤井祐介(佐賀城本丸歴史館 学芸担当係長) 「没後150年特別展江藤新平」記念シンポジウム『稀才・江藤新平の真に迫る』	480人
232	5月25日(土)	大庭裕介(湘南工科大学特別講師) 江藤新平はどんな法律を起草しようとしたか	116人
233	6月15日(土)	伊藤昭弘(佐賀大学地域学歴史文化研究センター長) 佐賀藩文政九年の政争	97人
234	7月6日(土)	佐藤賢一(電気通信大学教授) 江戸時代の数学 そろばんから大砲まで	138人
235	8月24日(土)	都留慎司(佐賀城本丸歴史館 学芸員) 鍋島武芸帖—佐賀藩士が修めた武芸の姿—	91人
236	9月14日(土)	山田由香里(長崎総合科学大学教授) 鍋島直正公のプライベート空間—佐賀城本丸御殿に関する調査研究報告	76人
237	10月19日(土)	青木歳幸(佐賀大学地域学歴史文化研究センター特命教授) 佐賀城本丸クラシックス4出版記念講演会『相良知安の人と思想—近代医学知の創造—』	120人
238	11月16日(土)	武谷和彦(佐賀城本丸歴史館 企画学芸課長) 鍋島の城	87人
239	12月8日(日)	藤井祐介(佐賀城本丸歴史館 学芸担当係長) 佐賀藩の四季—式典・祭祀・年中行事—	69人
240	1月18日(土)	宮崎博司(名護屋城博物館学芸課長) 名護屋城跡と大名陣跡	95人
241	3月22日(土)	吉住磨子(佐賀大学芸術地域デザイン学部教授) ある洋画家の誕生 百武兼行と19世紀後半のヨーロッパ	(3/1時点 未開催)
(計) ※3月1日現在まで			1369人

【26頁】

出前講座(令和6年度-1)

No	月日	主催者/会場/座名等	派遣	演題	人数
1	4月13日(土)	開拓判官島義勇顕彰会/札幌グランドホテル/開拓判官島義勇顕彰の集い記念講演会	藤井	島義勇が見た蝦夷地、そして日本	180人
2	4月25日(木)	NPO法人高遊外売茶翁顕彰会/肥前通仙亭/佐賀おもしろ学講座	藤井	江藤新平、日本の礎を築く	60人
3	5月11日(土)	洪洪然に連なる会/旅館あけぼの/洪洪然顕彰における会員相互の研修	都留	山清郡における洪浩然顕彰活動の現状	16人
4	5月30日(木)	川上校区公民館/川上校区公民館/佐賀の歴史講座	藤井	鍋島直正と幕末佐賀藩	25人
5	6月6日(木)	佐賀県土地改良同友会/アバンセ/佐賀県土地改良同友会集会	古川	江藤関係エピソード	50人
6	6月11日(火)	若楠公民館/若楠公民館/ふるさと・さが学講座	七田	佐賀藩士の履歴書 激動の幕末維新期をいかに生き抜いたか	30人
7	6月15日(土)	佐賀県医師会/佐賀メディカルセンター/佐賀県医師会第12回定例会員総会	武谷	佐賀城を知る。	75人
8	6月20日(木)	神野公民館/神野公民館/さが学講座	秋山	鍋島直大と百武兼行一ふたりが見た明治一	35人
9	7月8日(月)	大通り会/ホテルニューオータニ佐賀/大通り会例会	古川	江藤新平エピソード	30人
10	7月9日(火)	若楠公民館/若楠公民館/ふるさと・さが学講座	谷頭	副島種臣書作品の鑑賞	24人

【27頁】

出前講座(令和6年度-2)

No	月日	主催者/会場/講座名等	派遣	演題	人数
11	7月18日(木)	巨勢老人福祉センター/巨勢老人福祉センター/巨勢シルバーカレッジ/	武谷	佐賀城を知る。	35人
12	7月18日(木)	神野公民館/神野公民館/さが学講座	古川	江藤新平エピソード	5人
13	8月21日(水)	伊万里地区まちづくり運営協議会/伊万里コミュニティセンター/啓蒙舎講座	七田	佐賀藩士の履歴書 激動の幕末維新期をいかに生き抜いたか	30人
14	9月3日(火)	唐津市社協 相知町老人憩の家/相知町老人憩の家 賀寿苑/高齢者の生きがいと健康づくり事業	古川	島義勇入北記	38人
15	9月6日(金)	京土井自治会長寿会/京土井自治会公民館/京土井自治会長寿会例会講演	古川	江藤新平エピソード	25人
16	9月17日(火)	吉野ヶ里町教育委員会/吉野ヶ里中央公民館/吉野ヶ里ふれあい大学	武谷	佐賀城を知る。	26人
17	9月30日(月)	赤松公民館/赤松公民館/さが学講座	古川	江藤新平エピソード	50人
18	9月30日(月)	巨勢公民館・北川副公民館・諸富公民館/巨勢公民館/ふるさと歴史講座	武谷	佐賀城を知る。	65人
19	10月8日(火)	都市美会/佐賀市立図書館/都市美会集会	古川	辰野関係とその友	20人
20	10月10日(木)	開成公民館/開成公民館/開成さが学講座	藤井	江藤新平、日本の礎を築く	28人

【28頁】

出前講座(令和6年度-3)

No	月日	主催者/会場/講座名等	派遣	演題	人数
21	10月21日(月)	金立公民館/金立公民館/金立さが学講座	七田	吉野ヶ里遺跡の発掘	30人
22	10月21日(月)	佐賀県立鳥栖商業高校/佐賀県立鳥栖商業高校/さがを誇りに思う教育推進事業	七田	佐賀の過去の輝きから未来を見つめよう 弥生時代と幕末期に輝きを放った佐賀	490人
23	10月24日(木)	新栄公民館/新栄公民館/新栄さが学講座	藤井	江藤新平、日本の礎を築く	45人
24	10月24日(木)	北川副公民館・諸富公民館/北川副公民館/さが学講座	古川	江藤新平エピソード	50人
25	11月7日(木)	蓮池公民館/蓮池公民館/成人学級講座	古川	失われた若き秀才・山中一郎	40人
26	11月12日(火)	赤松小学校/赤松小学校/第5学年授業	藤井	佐賀の島義勇、札幌をつくる	97人
27	11月21日(木)	NPO法人高遊外売茶翁顕彰会/肥前通仙亭/佐賀おもしろ学講座	秋山	鍋島直大と百武兼行一ふたりが見た明治一	90人
28	11月26日(火)	日新小学校/日新小学校/5年総合的な学習の時間	古川	日新と七賢人	80人
29	11月27日(水)	日新まちづくり協議会/日新公民館/歴史講演会	古川	江藤新平エピソード	40人
30	12月5日(木)	佐賀商工会議所/ホテルニューオータニ/九州管内商工会議所の集まり	古川	佐賀の偉人について	100人

【29頁】

出前講座(令和6年度-4)

No	月日	主催者/会場/講座名等	派遣	演題	人数
31	12月19日(木)	鹿島史談会/鹿島市生涯学習センターエイブル/鹿島史談会12月例会	藤井	江藤新平、日本の礎を築く	25人
32	12月20日(金)	佐賀地方裁判所/佐賀地方裁判所/裁判官研修	七田	吉野ヶ里遺跡の発掘 見えてきた女王卑弥呼の宮殿と邪馬台国の姿	20人
33	12月24日(火)	日新公民館/日新公民館/日新さが学講座	藤井	「高輪築堤」と大隈重信	20人
34	1月15日(水)	大和老人福祉センター/大和老人福祉センター/大和いきがい文化講座	秋山	鍋島直大と百武兼行一ふたりが見た明治一	29人
35	1月29日(木)	久保泉公民館/久保泉公民館/「さが学」講座	武谷	久保泉の城館	18人
36	2月22日(土)	公益財団法人 孔子の里/東原庫舎/多久の歴史と文化を学ぶ講座	武谷	佐賀城内の多久屋敷	23人
37	2月27日(木)	中川副公民館(まちづくり協議会)/中川副公民館/中川副公民館「成人学級」	古川	燕雀安くんぞ鴻鵠の志を知らんやー島義勇の逸事ー	40人
38	3月6日(木)	上峰町公民館/上峰町センターホール/ふれ愛・絆いきセミナー&女性セミナー合同講座	古川	燕雀安くんぞ鴻鵠の志を知らんやー島義勇の逸事ー	50人
39	3月18日(火)	珍愚会/唐津市民交流プラザ/	都留	唐津街道の歴史について	未

(計)2179人
※3月10日時点

【30頁】

「佐賀偉人伝」出版事業(令和6年度)

出版概要	No	書名	著者名(敬称略)	初版刊行年月	発行部数(販売分)	販売部数計(R7年1月末まで)	令和6年度販売数(R6.4.1~R7.1.31)
	01	鍋島直正	杉谷 昭	平成22年11月刊	8,000部	6,476部	87部
	02	大隈重信	島 善高	平成23年1月刊	6,500部	5,603部	74部
	03	岡田三郎助	松本誠一	平成23年3月刊	5,000部	4,298部	10部
	04	平山醇左衛門	川副義敦	平成23年9月刊	3,500部	2,274部	4部
	05	島 義勇	榎本洋介	平成23年12月刊	5,000部	3,362部	30部
	06	大木喬任	重松 優	平成24年2月刊	3,500部	2,328部	12部
	07	江藤新平	星原大輔	平成24年9月刊	5,000部	3,643部	202部
	08	辰野金吾	清水重敦・河上眞理	平成26年3月刊	3,500部	2,963部	36部
	09	佐野常民	國 雄行	平成25年3月刊	3,500部	2,559部	30部
	10	納富介次郎	三好信浩	平成25年10月刊	3,500部	1,185部	14部
	11	草場佩川	高橋博巳	平成25年12月刊	3,500部	1,423部	16部
	12	副島種臣	森田朋子・齋藤洋子	平成26年2月刊	3,500部	2,518部	42部
	13	伊東玄朴	青木歳幸	平成26年11月刊	3,500部	1,080部	22部
	14	枝吉神陽	大園隆二郎	平成27年1月刊	3,500部	1,257部	26部
	15	古賀穀堂	生馬寛信	平成27年3月刊	3,500部	1,347部	23部
				64,500部	42,316部	628部	
促進販売	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 雑誌広告 ➤ 全巻購入者に、全巻収納用ケースの製作と贈呈。 ➤ 講演会等の開催。 						【31頁】

「佐賀県人名辞典」出版事業(令和6年度)

- 目的** 「佐賀偉人伝」の普及推進の一環として、より多くの人物に対する関心や調査に応えるために、古代から近代の佐賀県ゆかりの人物についての基本情報を収録した「佐賀県人名辞典」を出版する。
「佐賀偉人伝」の補完的な役割を担わせ、幕末明治期の枠に収まらず、より多くの人物についての情報を提供することを目的とする。
- 内容**
- 電子書籍での出版。
 - 期間をおいて紙媒体出版(研究者や有識者の指摘を受けた上で)。
 - 体裁:A5判・566頁・上製・函入(予定)
 - 収録人数:令和7年度中に人物項目約15を公開する予定(進度に応じて段階的にWEB公開する。)
 - 委員会による人物選定作業の過程で人名リスト、コラム等を含む規模拡大
 - 内容:人物情報、参考文献、肖像写真
 - 読者対象:高校生以上

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
4月		編集委員会				475人分をHPアップ		54人分をHPアップ	41人分をHPアップ	10人分をHPアップ	5人分をHPアップ(予定)	15人分をHPアップ(予定)
5月	編集委員会		編集委員会									
6月		編集委員会										
7月		編集委員会		編集委員会		編集委員会						
8月			編集委員会									
9月	編集委員会											
10月					編集委員会							
11月	編集委員会		編集委員会									
12月			編集開始									
1月	編集委員会	編集委員会	校正作業開									
2月				編集委員会						編集委員会	編集委員会	編集委員会(予定)
3月	編集委員会	原稿1部入手		371人分をHPアップ	編集委員会	編集委員会			編集委員会			

「佐賀城本丸クラシックス」出版事業(令和6年度)

- 目的** 明治維新150年事業によって佐賀の偉人たちへの関心が高まるなか、七賢人を中心とした人物たちの一次的な資料(日記、書簡、談話など)を出版することによって、より深い関心と研究を醸成し、維新博レガシー継承事業としての役割を果たしていく。さらに本丸歴史館の偉人顕彰という役割の一端を担っていく。
- 必要性** 薩長土をはじめとした幕末明治の一次資料(日記、談話、全集など)の出版物の多さに比して、佐賀藩に関するものはなはだ乏しいのが実情である。長期的視野で佐賀の幕末維新の認知を高めるためには、基礎文献を整備することで広く普及を担う人々(作家や研究者、メディア関係)への材料提供は欠くことはできない。
- 内容**
- 紙媒体出版(R2以降)
 - 体裁:菊判(221×152mm)・300頁～500頁内外・上製本・貼函
 - 想定読者:作家、研究者、メディア関係等
- 実績**
- R2年度 佐賀城本丸クラシックス1「島義勇入北記」 R3.3.7発刊
 R3年度 佐賀城本丸クラシックス2「江藤新平関係書翰」 R4.3.30発刊
 R4年度 佐賀城本丸クラシックス3「大木喬任伝記資料談話筆記」 R5.3.22発刊
 R6年度 佐賀城本丸クラシックス4「相良知安関係文書」 R6.10.8発刊

計画 R7年度以降

右記のようなラインナップで出版を計画する。
(R7年度は編集作業)

R8年度 第5巻 古賀穀堂経世論集
 R9年度 第6巻 鍋島閑叟詩集 附・遺墨集
 R10年度 第7巻 佐賀藩士幕末海外渡航記録
 R11年度 第8巻 副島種臣関係文書

【33頁】

博学連携等(令和6年度)

No	活動項目	活動内容
1	職場体験受入	佐賀龍谷学園龍谷中学校2年生 2名 佐賀市立城北中学校2年生 4名 佐賀市立城東中学校2年生 3名 佐賀大学教育学部附属中学校2年生 4名 佐賀市立東与賀中学校2年生 2名
2	佐賀市立赤松小学校コミュニティ・スクール事業への支援	「本丸歴史クラブ」活動(年4回)への支援 「しゃちの門コミュニティ」3年生の見学質問に対応 「赤松コミュニティの集い」への参加 「島義勇」について5年生に赤松小にて講演
3	うちわ絵	夏イベント関連で、龍谷こども園(年長組)にうちわ絵の作成を依頼。館内で展示を行った。
4	教員の受け入れ	佐賀市立城東中学校教諭 1名 8/1,8/5 佐賀市立昭栄中学校教諭 1名 8/1,8/5 佐賀市立城東中学校教諭 1名 8/9,8/10

【34頁】

共催事業・その他の教育普及活動(令和6年度)

No	活動項目	活動内容
1	生花展示	御座間の1年間の生け花を佐賀県華道連合会に委託している。来館者の方からの評判もよい。
2	子ども着付体験	毎月第1土曜日に実施している。夏季(7月～9月)を除いて毎月実施し、計314人が参加。
3	紙芝居	小学校等来館時に希望に応じて、また、夏休み期間中に子どもを対象に佐賀城本丸ボランティアが紙芝居を実施し、楽しく佐賀の歴史を学んでもらう。令和6年度は8月3日、4日、6日の3日間実施した。
4	お城たんけんクイズラリー	子どもを対象に常時実施している。小学生低学年用と高学年用に2種類の問題を用意している。また、特別展、テーマ展開催中は、関連した特別バージョンのクイズラリーを実施している。
5	子どもひなの宴	佐賀市内の小・中学生が作成したひな人形を、佐賀城本丸歴史館の外御書院に展示する。令和6年度は第11回目であり、2月8日～3月9日に実施。小学校23校(2,005名)参加。 ※主催:佐賀城下ひなまつり実行委員会

【35頁】

佐賀城本丸ボランティア(令和6年度)

1 佐賀城本丸ボランティア

➤ 登録人数

66名(令和7年3月1日現在)

➤ 主な活動内容

ア 展示資料、復元建物、周辺史跡等の案内

イ 各種イベント等補助

ウ 館に対する意見及び提案

エ お世話係会(月1回)

2 各ボランティア団体との連携

➤ 佐賀県観光ボランティアガイド連絡協議会通常総会(7月/武雄市)

➤ 佐賀県観光ボランティアガイド連絡協議会県内研修会(12月/佐賀市)

3 その他活動

➤ 佐賀城石垣周辺の清掃活動(7月、9月) ※9月は台風のため中止

➤ 館外研修会(11月、熊本城)

➤ ボランティア自主企画により作成した紙芝居の実施(夏イベント期間中に実施)

➤ ボランティアによる手作りプレゼント(GW/開館記念日/ひなまつり)

【36頁】

施設貸出(令和6年度)

行事名	月日あるいは期間	場所	主催者
SAGA ハイスクールDI人材育成事業に係る連携協定 セレモニー	令和6年5月17日～18日	外御書院	佐賀県教育委員会事務局教育DX推進グループ
俊寛を謡う会「謡曲の中の源氏物語」	令和6年5月25日	御座間、 堪忍所	土謡会
令和6年度県政功労者知事表彰式	令和6年5月28日～29日	外御書院	佐賀県政策部秘書課
百人一首かるた親子イベント	令和6年6月29日	外御書院	佐賀県かるた協会
「佐賀能楽大連吟」開催のため	令和6年6月30日	外御書院	佐賀能楽大連吟実行委員会
令和6年度表千家青年部納涼茶会	令和6年7月13日～14日	外御書院	表千家同門会佐賀県支部青年部
佐賀県教育旅行現地視察(おもてなし隊の寸劇鑑賞)	令和6年8月8日	外御書院	西鉄旅行株式会社佐賀支店
「幕末・維新 佐賀の八賢人おもてなし隊」による歴史 寸劇	令和6年10月6日～令和7年3月30日の 毎週日曜日(休館日除く)	外御書院、 御座間	一般社団法人 魅力発掘プロデュース協会
令和6年度 佐賀県観光案内所ネットワーク化推進事 業 第4回研修会	令和6年11月7日	御座間、 堪忍所	佐賀県観光連盟
九州木材青壮年連合会 会員佐賀大会 式典	令和6年11月9日	外御書院	九州木材青壮年連合会
クリークから考える地域活性化シンポジウム	令和6年11月17日	外御書院	佐賀県農林水産部農山村課
令和6年秋の叙勲伝達式	令和6年11月27日～28日	外御書院	佐賀県政策部秘書課
佐賀市伝統文化茶道およびお箏こども教室発表会	令和6年11月29日～30日	外御書院	茶道文化こども教室
佐賀県観光ボランティアガイド連絡協議会県内研修会	令和6年12月5日	外御書院	佐賀県観光連盟

【37頁】

施設貸出(令和6年度)

行事名	月日あるいは期間	場所	主催者
TBSテレビ「皇室特番」取材	令和6年12月6日	外御書院	TBSテレビ 情報制作局情報 三部
第8回 佐賀県児童生徒ふるさと学習コンクール表彰 式	令和6年12月7日	外御書院	佐賀県教育委員会事務局学 校教育課
第8回佐賀さいこう！企画甲子園企画コンテスト	令和6年12月14日～15日	外御書院	佐賀県地域交流部さが創生 推進課
いけばな小原流佐賀支部展	令和6年12月20日～22日	外御書院	一般財団法人小原流佐賀支 部
佐賀県庁仕事始め式	令和7年1月5日～6日	外御書院	佐賀県政策部秘書課
令和6年度新春百人一首かるた会	令和7年1月8日	外御書院	佐賀県立佐賀西高等学校
初生け会	令和7年1月11日～13日	外御書院	池坊佐賀市連合会
雅の會	令和7年1月19日	外御書院	雅の會
新春舞踊の会	令和7年1月26日	外御書院	佐賀県舞踊の会

【38頁】

入館者状況（年度別）

（令和7年3月1日現在）

年度	入館者数 ①	開館日数 ②	1日平均 ①/②	団体客数 ③	③/① *100	団体数 ④	1団体平均 ③/④	英語圏	韓国語 圏	簡体字 圏	繁体字 圏	外国人 数 ⑤	⑤/① *100
H16/2004	242,970	240	1012.4	88,368	36.4	2,873	30.8	774	657	225	184	1,840	0.8
H17/2005	211,786	355	596.6	98,972	46.7	3,294	30.0	1,305	1,171	362	294	3,132	1.5
H18/2006	181,375	355	510.9	82,650	45.6	2,671	30.9	1,175	939	311	7,948	10,373	5.7
H19/2007	161,411	358	450.9	75,795	47.0	2,511	30.2	985	1,222	341	6,611	9,159	5.7
H20/2008	156,290	357	437.8	53,819	34.4	1,913	28.1	1,195	1,385	545	1,241	4,366	2.8
H21/2009	158,589	357	444.2	53,150	33.5	1,825	29.1	942	601	373	626	2,542	1.6
H22/2010	170,638	357	478.0	50,118	29.4	1,704	29.4	924	3,386	560	623	5,493	3.2
H23/2011	174,963	360	486.0	52,067	29.8	1,738	30.0	1,045	3,473	533	1,661	6,712	3.8
H24/2012	170,300	348	489.4	43,052	25.3	1,442	29.9	1,012	3,043	712	3,724	8,491	5.0
H25/2013	209,971	357	588.2	45,047	21.5	1,644	27.4	976	2,222	619	10,740	14,557	6.9
H26/2014	213,945	362	591.0	55,134	25.8	1,984	27.8	1,373	6,399	921	12,911	21,604	10.1
H27/2015	226,325	357	634.0	49,718	22.0	1,861	26.7	1,419	6,110	1,194	13,170	21,893	9.7
H28/2016	255,030	326	686.7	58,755	23.0	2,194	26.8	1,533	11,512	2,958	18,085	34,088	13.4
H29/2017	325,369	362	898.8	72,409	22.3	2,611	27.7	1,254	12,662	4,619	24,954	43,489	13.4
H30/2018	510,126	362	1409.2	95,949	18.8	2,555	37.6	1,276	10,590	4,581	17,455	33,902	6.6
R1/2019	225,536	357	631.8	44,285	19.6	1,668	26.5	1,893	3,534	6,342	14,991	26,760	11.9
R2/2020	69,218	341	203.0	7,900	11.4	218	36.2	212	8	44	4	268	0.4
R3/2021	84,459	360	234.6	8,119	9.6	253	32.1	221	7	16	3	247	0.3
R4/2022	112,003	358	312.9	16,705	16.7	642	26.0	1,008	298	154	1,134	2,594	0.6
R5/2023	190,766	363	525.5	25,023	13.1	925	27.1	2,214	3,145	1,684	4,841	11,884	6.2
R6/2024	199,588	329	606.7	24,447	12.2	917	26.7	2,028	4,045	3,876	5,662	15,611	7.8
計	4,250,658	7,354	578.0	1,101,482	25.9	37,443	29.4	24,772	76,409	30,970	146,854	279,005	6.6

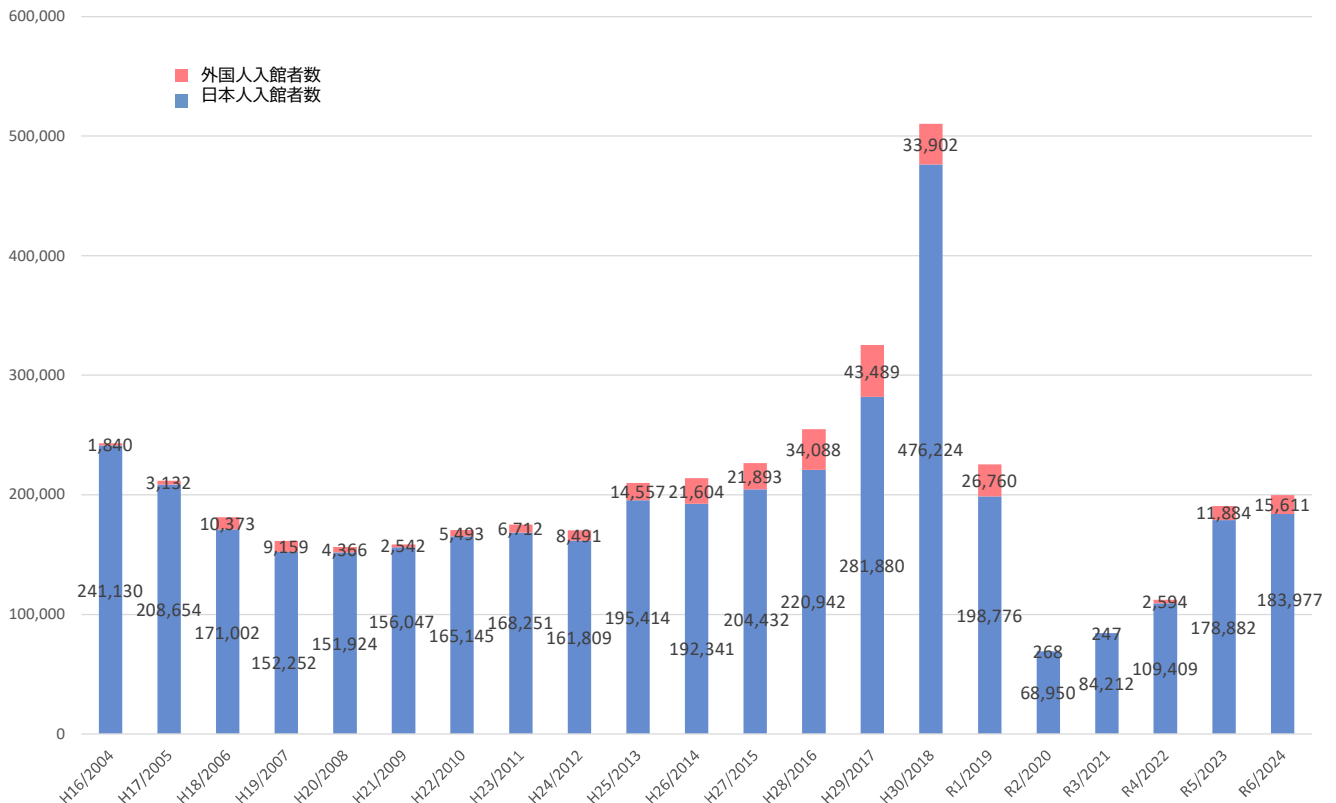
【39頁】

入館者数の推移（年度別）

（令和7年3月1日現在）

（単位：人）

年度別入館者数の推移

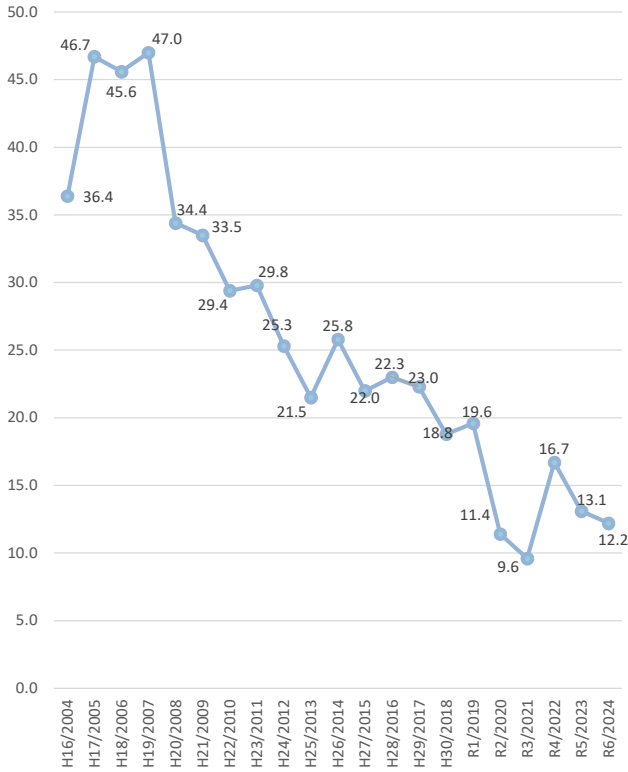


【40頁】

入館者の推移 (年度別/団体・外国人)

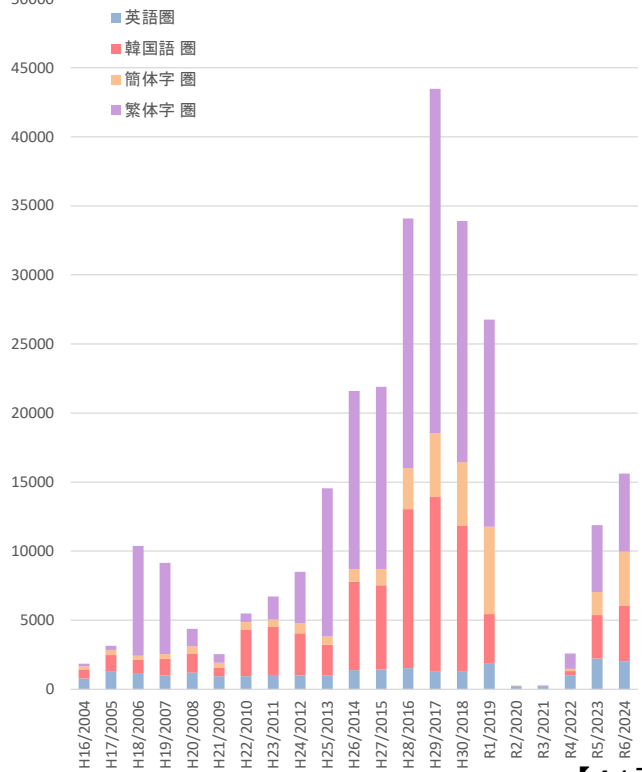
入館者に対する団体入館者の割合の推移 [単位:%]

(令和7年3月1日現在)



外国人入館者の推移 (パンフレット配布数) [単位:枚]

(令和7年3月1日現在)



【41頁】

入館者状況 (令和6年度 月別)

(令和7年3月1日現在)

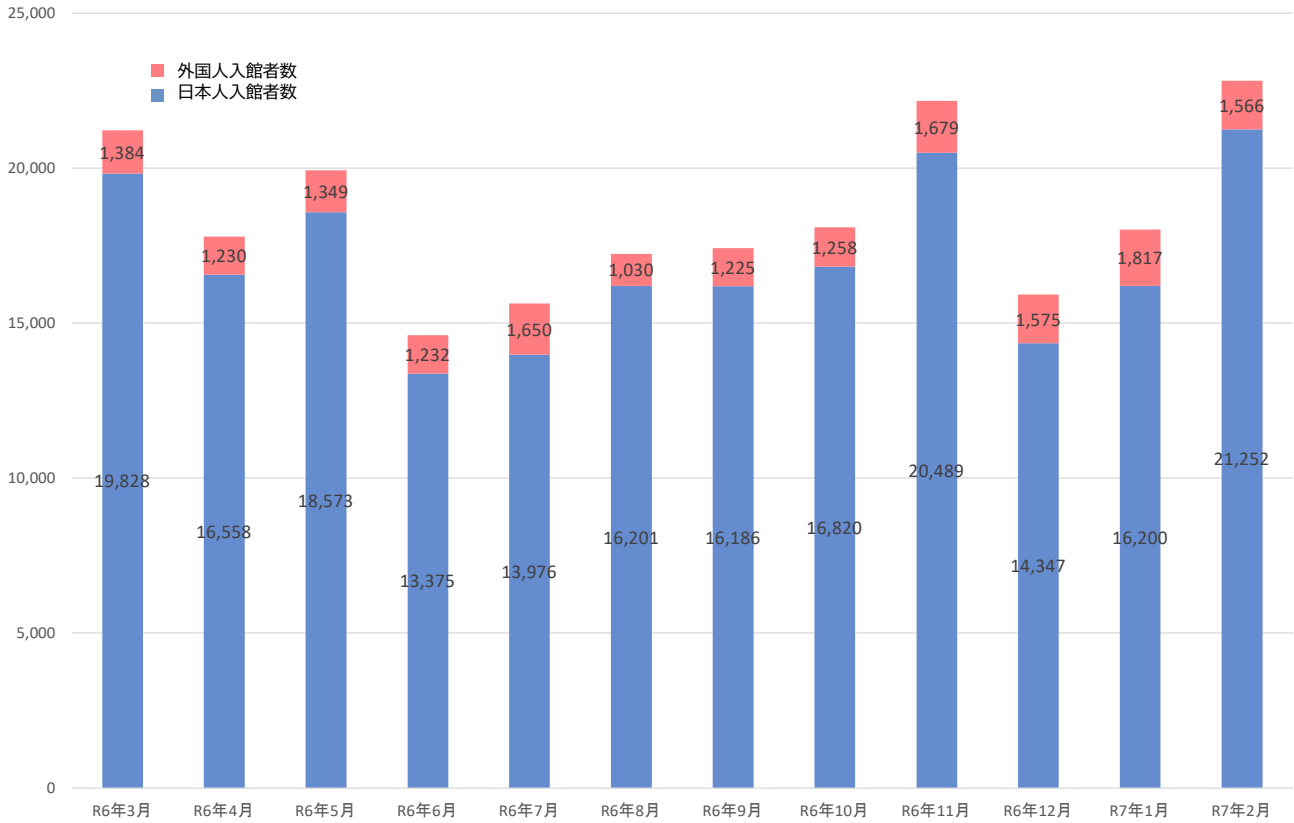
月	入館者数①	開館日数②	1日平均①/②	団体客数③	③/①*100	団体数④	④/③	英語圏	韓国語圏	簡体字圏	繁体字圏	外国人数⑤	⑤/①*100	日本人①-⑤
R6年3月	21,212	31	684.3	2,255	10.6	90	25.1	164	468	188	564	1,384	6.5	19,828
R6年4月	17,788	30	592.9	1,858	10.4	73	25.5	189	267	199	575	1,230	6.9	16,558
R6年5月	19,922	31	642.6	2,413	12.1	88	27.4	232	313	227	577	1,349	6.8	18,573
R6年6月	14,607	30	486.9	1,828	12.5	78	23.4	151	281	375	425	1,232	8.4	13,375
R6年7月	15,626	31	504.1	1,289	8.2	65	19.8	148	312	345	845	1,650	10.6	13,976
R6年8月	17,231	29	594.2	892	5.2	46	19.4	143	221	272	394	1,030	6.0	16,201
R6年9月	17,411	30	580.4	2,295	13.2	76	30.2	170	267	317	471	1,225	7.0	16,186
R6年10月	18,078	31	583.2	2,199	12.2	81	27.1	192	244	376	446	1,258	7.0	16,820
R6年11月	22,168	30	738.9	4,164	18.8	141	29.5	270	396	426	587	1,679	7.6	20,489
R6年12月	15,922	28	568.6	2,620	16.5	90	29.1	216	763	179	417	1,575	9.9	14,347
R7年1月	18,017	31	581.2	1,825	10.1	67	27.2	193	582	498	544	1,817	10.1	16,200
R7年2月	22,818	28	814.9	3,064	13.4	112	27.4	124	399	662	381	1,566	6.9	21,252
計	220,800	360	613.3	26,702	12.1	1,007	26.5	2,192	4,513	4,064	6,226	16,995	7.7	203,805

【42頁】

入館者数の推移 (令和6年度 月別)

(単位:人)

(令和7年3月1日現在)

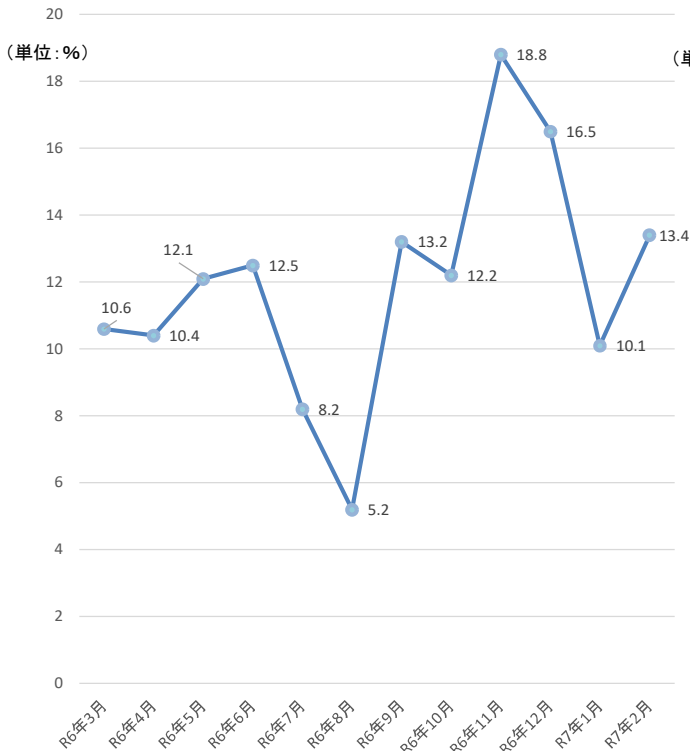


【43頁】

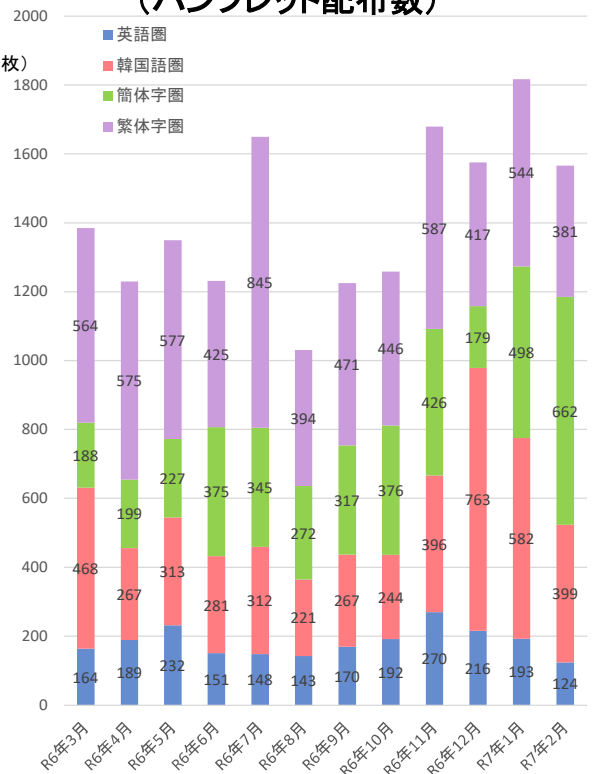
入館者状況 (令和6年度 団体・外国人)

(令和7年3月1日現在)

入館者に対する団体入館者の割合の推移



外国人入館者の推移 (パンフレット配布数)



【44頁】

令和6年度最終予算(1/3)

行政的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館運営費	4,243千円	館の運営に要する経費 ○会議及び研修等職員旅費 ○博物館協会負担金 ○運営協議会開催費 ○外国語(中国語・韓国語)によるおもてなしに係る経費 等
	佐賀城本丸歴史館維持管理費	73,873千円	館の維持管理経費 ○修繕費 ○光熱水費 ○運営に係る各種委託料 等
佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	2,686千円	資料の収集及び保管、公開に要する経費 ○資料の寄贈・寄託受入れに伴う経費 ○資料の保存に要する経費 ○博物館収蔵品管理システム運営経費 等
佐賀城本丸歴史館研究活動費	佐賀城本丸歴史館研究活動費	5,873千円	館の展示や教育普及、資料収集保存の活動の基盤とするために調査研究活動を実施する ○基本文献の収集や資料所在調査にかかる経費 ○研究紀要の作成及び発送にかかる経費 等
佐賀城本丸歴史館常設展示費	佐賀城本丸歴史館常設展示費	2,485千円	常設展示に要する経費
		89,160千円	【対前年度比104.55%】

【45頁】

令和6年度最終予算(2/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館教育普及費	佐賀城本丸歴史館教育普及活動費	11,083千円	教育普及啓発事業に要する経費 ○イベント開催に係る経費(20周年記念イベント含む) ○歴ゼミ講師謝金 等
	佐賀城本丸歴史館ボランティア活動費	2,074千円	ボランティアガイドに要する経費 ○ボランティア報償費 ○ボランティア保険 等
	佐賀城本丸歴史館普及啓発費	1,936千円	普及啓発活動費に要する経費 ○グッズ作成費 等
	文化振興基金積立金	6,118千円	文化振興基金への積立金に要する経費 ○来館者からの寄附金収入 ○図録・グッズ販売収入
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館広報誘客活動費	927千円	館に対する県民意識の高揚と文化観光施設として周知を図るための経費 ○館内案内や年間行事を周知するチラシ作成費 等
佐賀城本丸歴史館出版事業費	佐賀城本丸歴史館出版事業費	5,749千円	「佐賀偉人伝」、「佐賀県人名辞典」及び「佐賀城本丸クラシックス」の出版及び販売等に要する経費 ○原稿執筆、編集に要する経費 ○印刷製本に要する経費 等
佐賀城本丸歴史館施設設備整備費	佐賀城本丸歴史館施設整備費	17,293千円	館の施設整備に要する経費 ○外装木部塗装工事、障子張り替え ○施設維持に要する修繕 等

【46頁】





令和6年度最終予算(3/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館企画展開催費	佐賀城本丸歴史館企画展開催費	7,185千円	没後150年特別展「江藤新平」開催に要する経費
佐賀城本丸歴史館施設設備整備費	佐賀城本丸歴史館施設設備整備費(FM関係)	624千円	施設別長期保全計画に基づく工事に要する経費 ○トイレ及び給湯室改修に係る設計業務委託費
江藤新平復権事業費	江藤新平復権事業費	7,856千円	江藤新平の功績の顕彰に要する経費 ○映像製作費
		60,845千円	【対前年度比85.13%】

2 令和7年度の主な事業計画

展覧会(令和7年度／予定)

No	会期	会場	展覧会名	内容	
(1)	令和7年 3月14日 ～5月11日 【59日間】	御小書院 (特別展示室)	テーマ展 「鍋島直大と百武兼行 ふたりが見た明治」	「最後の佐賀藩主」であり、明治政府では要職で活躍した鍋島直大と彼の側近を務め、日本近代洋画の先駆者でもある百武兼行が、明治という新たなる時代に何を見出し、どのような未来を切り拓こうとしたのか資料や作品を通じて探る。	
(2)	令和7年 7月4日～9 月7日 【66日間】	御小書院 (特別展示室)	テーマ展 「幕末維新のエネルギー —近世肥前の石炭史—」 ※「明治日本の産業革命遺産」 世界文化遺産登録十周年記念連携展	「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」登録十周年を記念して、幕末維新期日本最大の産炭地であった、肥前地域の石炭産業について振り返る。	
(3)	令和7年 10月17日 ～令和8年 1月12日 【88日間】	御小書院 (特別展示室)	テーマ展 「佐賀城を知る」	令和7年度から開始する佐賀城本丸御殿「中奥」・「奥」・庭園等の発掘調査事業に関連して、これまで実施してきた文献等の調査・研究成果と合わせ、佐賀城について新たに判明したことなどを紹介する。	
(4)	令和8年 3月13日 ～5月10日 【59日間】	御小書院 (特別展示室)	テーマ展 「さが歴史の道 —往還し、 交わり、続いていく—」	肥前国、現在の佐賀県域に整備された街道や往還は、古くから人・モノ・情報が行き交う街道や往還が多く整備されていた。そうした「歴史の道」を舞台とする人やモノの交流模様を多彩な資料から紹介する。	

佐賀城本丸御殿調査事業

経緯	平成29～30年度 本丸跡の発掘調査を実施 令和元～2年度 建物平面表示を整備 令和5年(2023年) 御座間・堪忍所が佐賀県重要文化財に指定 令和5～6年度 歴史資料、類例建物の調査を実施
課題	御座間・堪忍所と棟続きの御小座や御寝所・泉水(庭園)など、藩主の日常生活や執政に関わる様子を十分には紹介できていない。
概要	御座間・堪忍所と棟続きの御小座や御寝所・泉水(庭園)など、藩主の日常生活や執政空間に関する調査を行う。 ○埋蔵文化財発掘調査 発掘調査対象範囲計1,170㎡のうち、令和7年度は庭園空間計490㎡の調査を実施予定(図のC1～C3) ※発掘調査は令和7～9年度の3か年で実施予定



【50頁】

佐賀城本丸御殿調査事業

調査スケジュール(予定)

調査内容	R5	R6	R7	R8	R9
建物関係			■ ■ ■ ■ 補足調査		
文献・絵図			■ ■ ■ ■ 補足調査		
埋蔵文化財発掘調査			庭園空間 (自然科学分析)	「表御廊下」・ 「奥」空間 (自然科学分析) (整理作業)	(整理作業) (報告書作成)
庭園関係		■ ■ 予備調査		■ ■ ■ ■ 補足調査	



建物調査



発掘調査・調査指導員会議



発掘調査現地説明会



文献・絵図調査



「御座間」・
「御小座」・
庭園古写真

【51頁】

佐賀城本丸御殿情報発信事業

概要	幅広い層が佐賀城本丸御殿の未復元空間(大名庭園、「中奥」・「奥」等)も含めて興味・関心を持てるような話題性のある催しを開催する。
会期	令和7年上半期を予定
会場	佐賀城本丸歴史館 外御書院・「御座間」 佐賀城本丸敷地内(「中奥」・「奥」、庭園部の屋外エリア)
目的	本丸御殿の表部分である外御書院に加え、より身近な藩主たちの暮らしぶりについても興味・関心・理解を深め、文化観光施設としての価値を高めていく。

○イベント内容(現在検討中)

- 著名城郭研究者による講演など
- 当時の献立を再現した『時代食』を提供(殿様からの振舞の再現)
- 当時の「中奥」・「奥」の様子を体感できる映像 など



「イメージ」
特別講演会



「イメージ」
時代食の再現
(佐賀女子短期大学提供)

【52頁】

ゴールデンウィークイベント(令和7年度/予定)

No	月日	イベント名	会場
1	5月5日(月・祝) 5月6日(火・振休)	ワークショップ オリジナルこいのぼりづくり	二之間・三之間
2	4月29日(火・祝)	昔風写真体験	一之間・二之間
3	5月3日(土・祝)	子ども着付体験	一之間・二之間
4	5月4日(日・祝)	甲冑体験	一之間・二之間
5	4月29日(火・祝)～5月6日(火・振休)	昔遊びコーナー	四之間



ワークショップ
オリジナルこいのぼりづくり



昔風写真体験



甲冑体験



子ども着付体験

【53頁】

令和7年度の予算要求状況(1/3)

行政的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館運営費	4,169千円	館の運営に要する経費 ○会議及び研修等職員旅費 ○博物館協会負担金 ○運営協議会開催費 ○外国語(中国語・韓国語)によるおもてなしに係る経費 等
	佐賀城本丸歴史館維持管理費	81,305千円	館の維持管理経費 ○修繕費 ○光熱水費 ○運営に係る各種委託料 等
佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	2,672千円	資料の収集及び保管、公開に要する経費 ○資料の寄贈・寄託受入れに伴う経費 ○資料の保存に要する経費 ○博物館収蔵品管理システムの運営経費 等
佐賀城本丸歴史館研究活動費	佐賀城本丸歴史館研究活動費	779千円	館の展示や教育普及、資料収集保存の活動の基盤とするために調査研究活動を実施する ○基本文献の収集や資料所在調査に要する経費 ○研究紀要の作成及び送付にかかる経費 等
佐賀城本丸歴史館常設展示費	佐賀城本丸歴史館常設展示費	6,645千円	常設展示に要する経費
		95,570千円	【対前年度比105.27%】

【54頁】

令和7年度の予算要求状況(2/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館教育普及費	佐賀城本丸歴史館教育普及費	3,230千円	教育普及啓発事業に要する経費 ○イベントに係る経費 ○歴ゼミ講師謝金 等
	佐賀城本丸歴史館ボランティア活動費	2,620千円	ボランティアガイドに要する経費 ○ボランティア報償費 ○ボランティア保険 等
	佐賀城本丸歴史館普及啓発費	1,572千円	普及啓発活動費に要する経費 ○グッズ作成費 等
	文化振興基金積立金	4,832千円	文化振興基金への積立金に要する経費 ○来館者からの寄附金収入 ○図録・グッズ販売収入
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館広報誘客活動費	2,119千円	館に対する県民意識の高揚と文化観光施設として周知を図るための経費 ○館内案内や年間行事を周知するチラシ作成費 等
佐賀県人名辞典出版事業費	佐賀県人名辞典出版事業費	4,833千円	「佐賀偉人伝」、「佐賀県人名辞典」及び「佐賀城本丸クラシックス」の出版及び販売等に要する経費 ○原稿執筆、編集に要する経費 等

【55頁】

令和7年度の予算要求状況(3/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館施設設備整備費	佐賀城本丸歴史館施設整備費	29,393千円	館の施設整備に要する経費 ○外装木部塗装改修工事、畳張替え・表裏返し、防犯設備更新 ○施設維持に要する修繕 等
	佐賀城本丸歴史館施設整備費(FM関係)	52,016千円	施設別長期保全計画に基づく工事に要する経費 ○トイレ、給湯室改修
謎の佐賀城本丸「奥」エリア解明事業費	謎の佐賀城本丸「奥」エリア解明事業費	39,164千円	佐賀城本丸御殿についての調査・研究・普及啓発に要する経費 ○調査研究事業(発掘調査等) ○情報発信事業
		139,779千円	【対前年度比222.22%】